

防府之葉

94
757

ADC-3584

025994-000-5

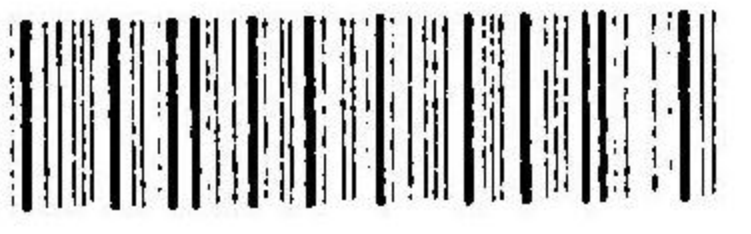
94-757

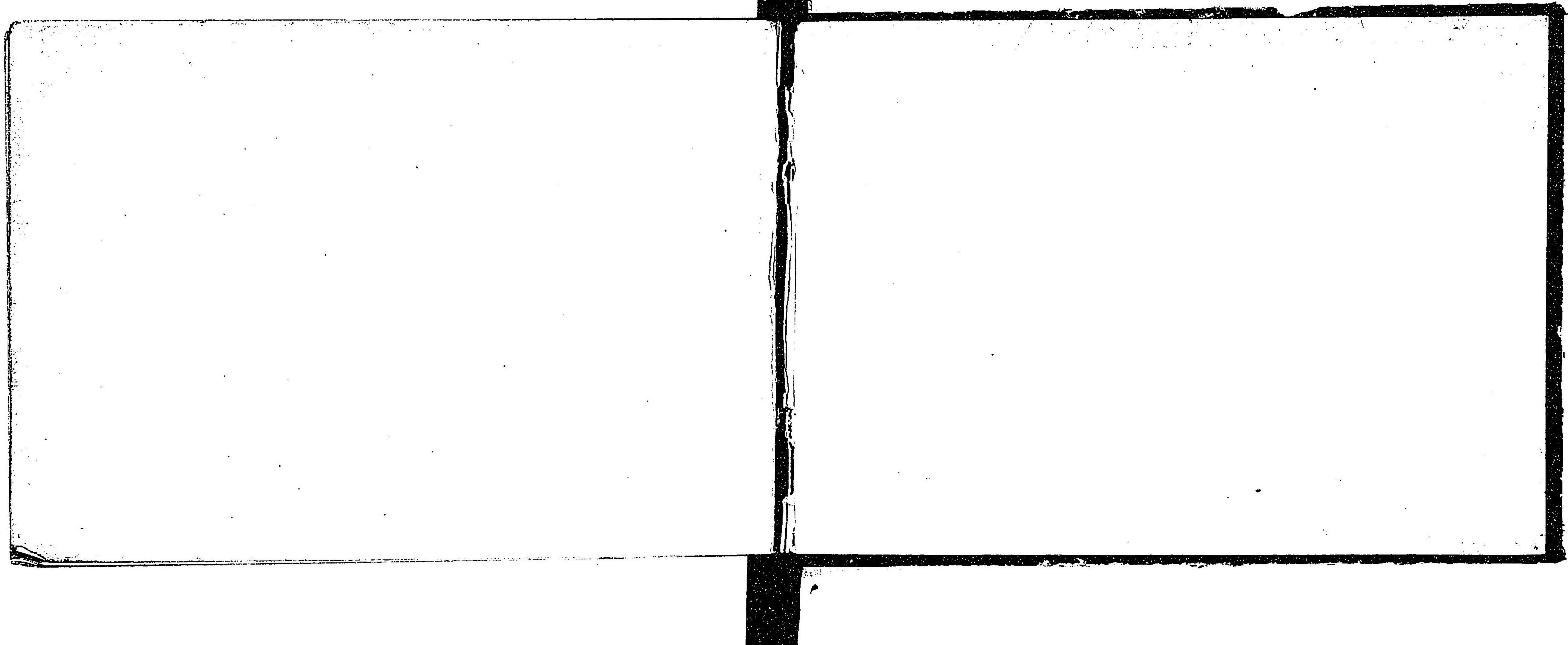
防府之葉

竹村 豊太郎/著

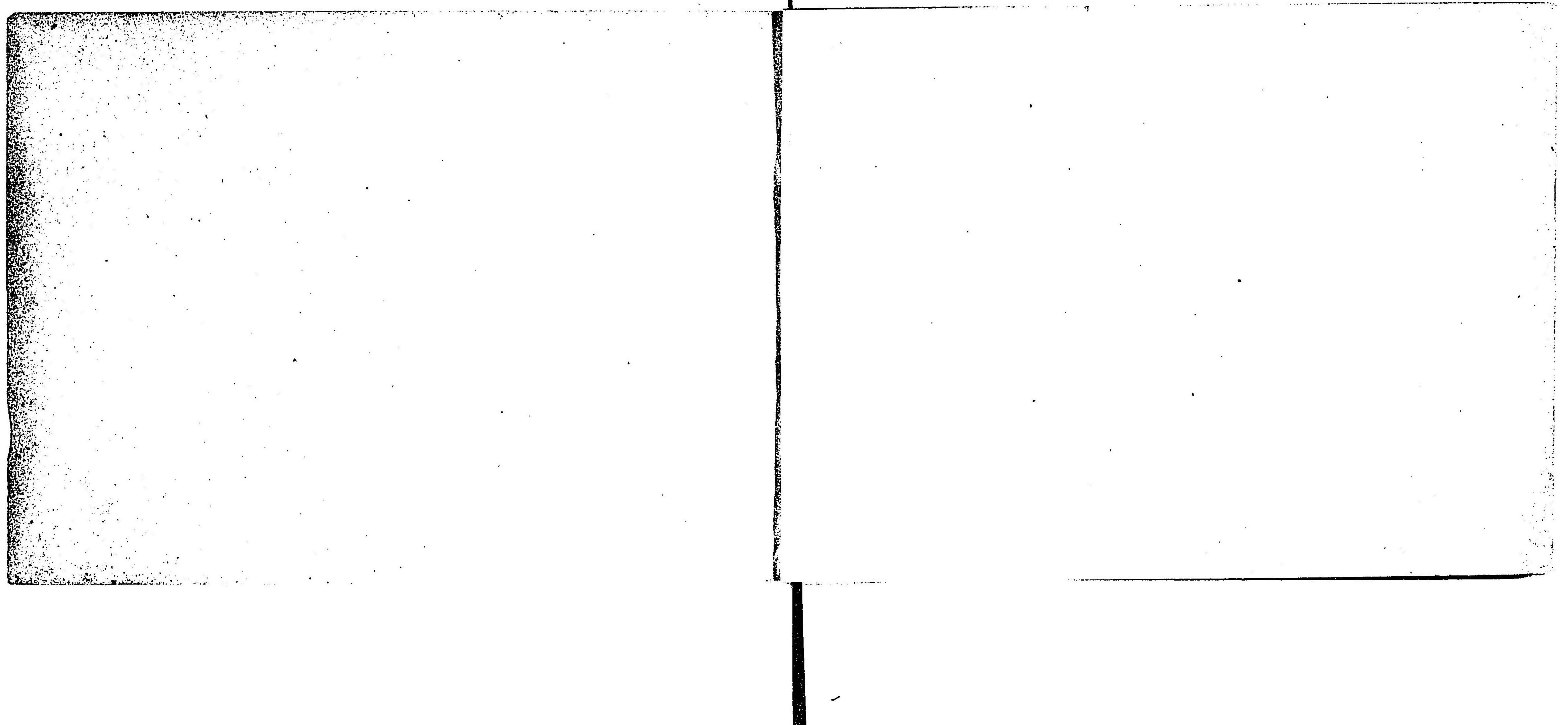
M44

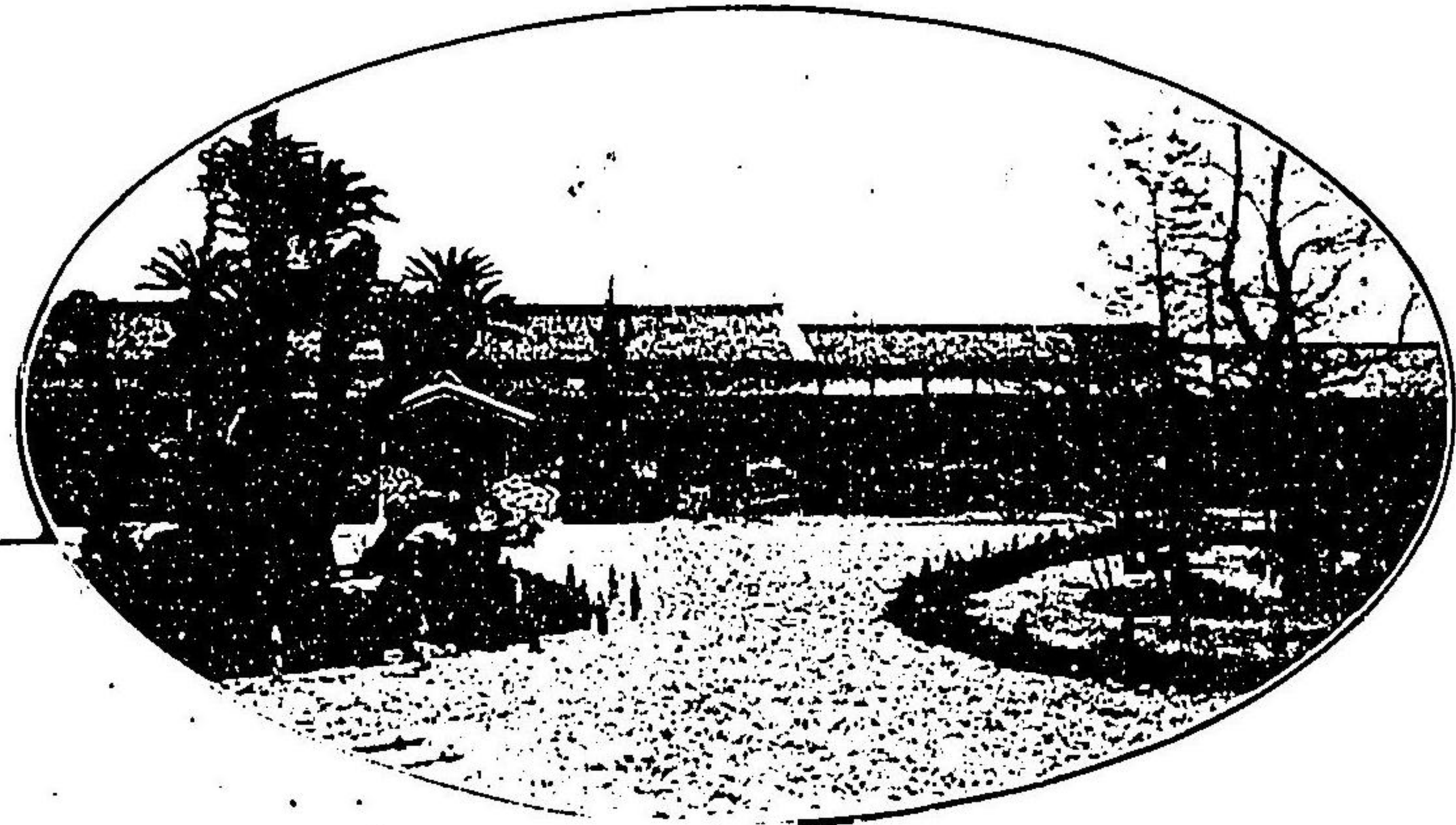
ADC-3584



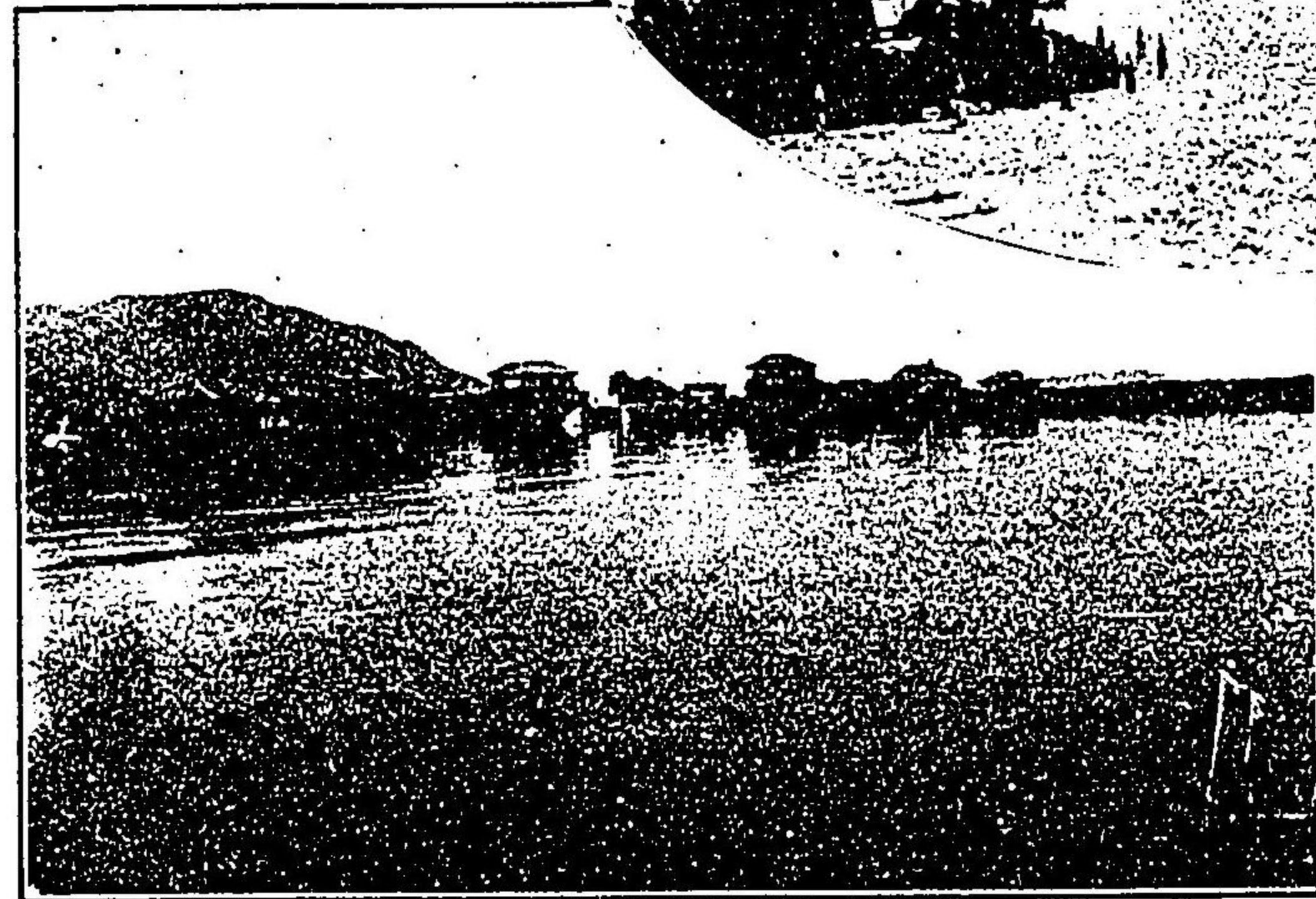


防府之藥





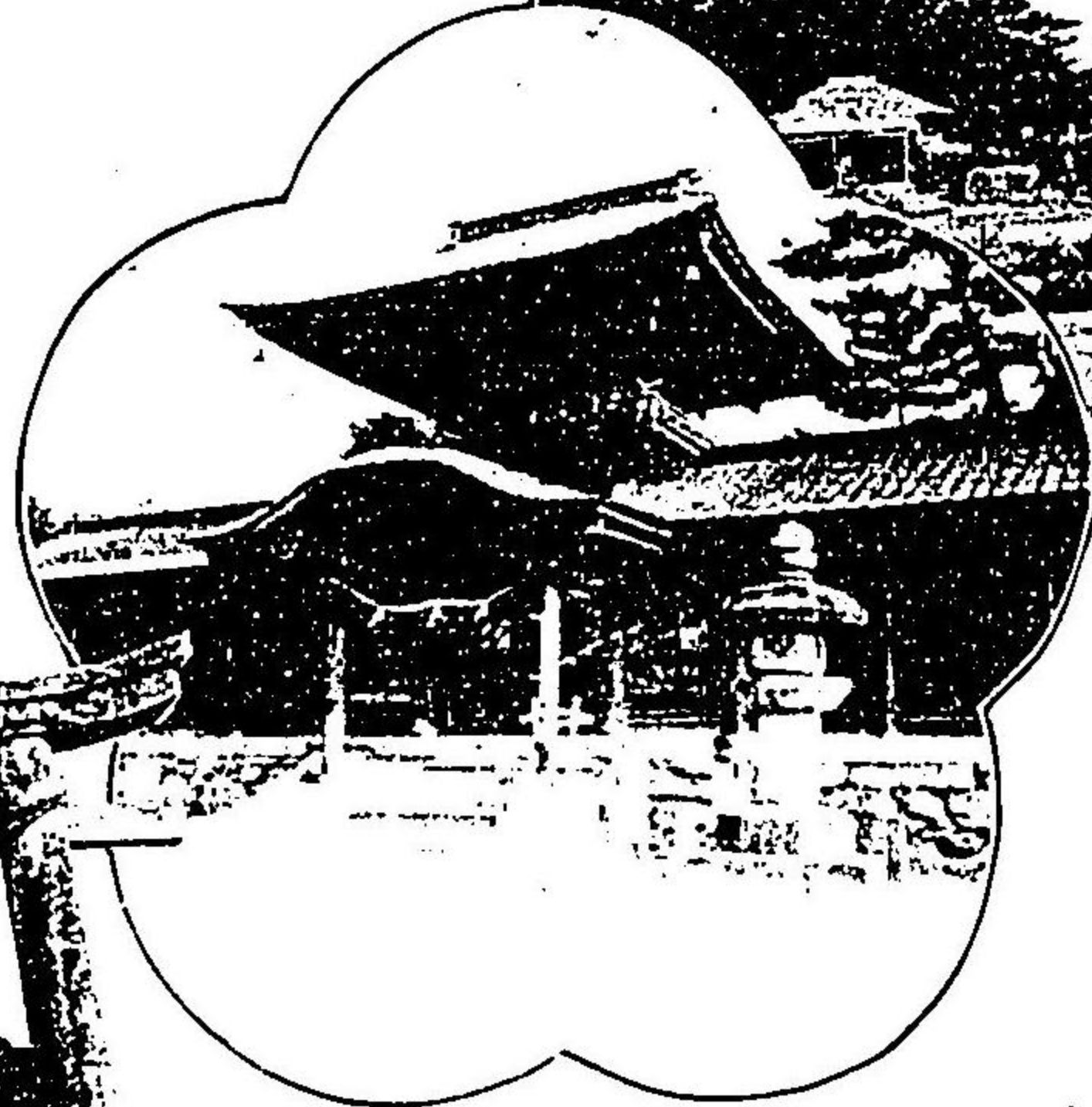
三田尻驛



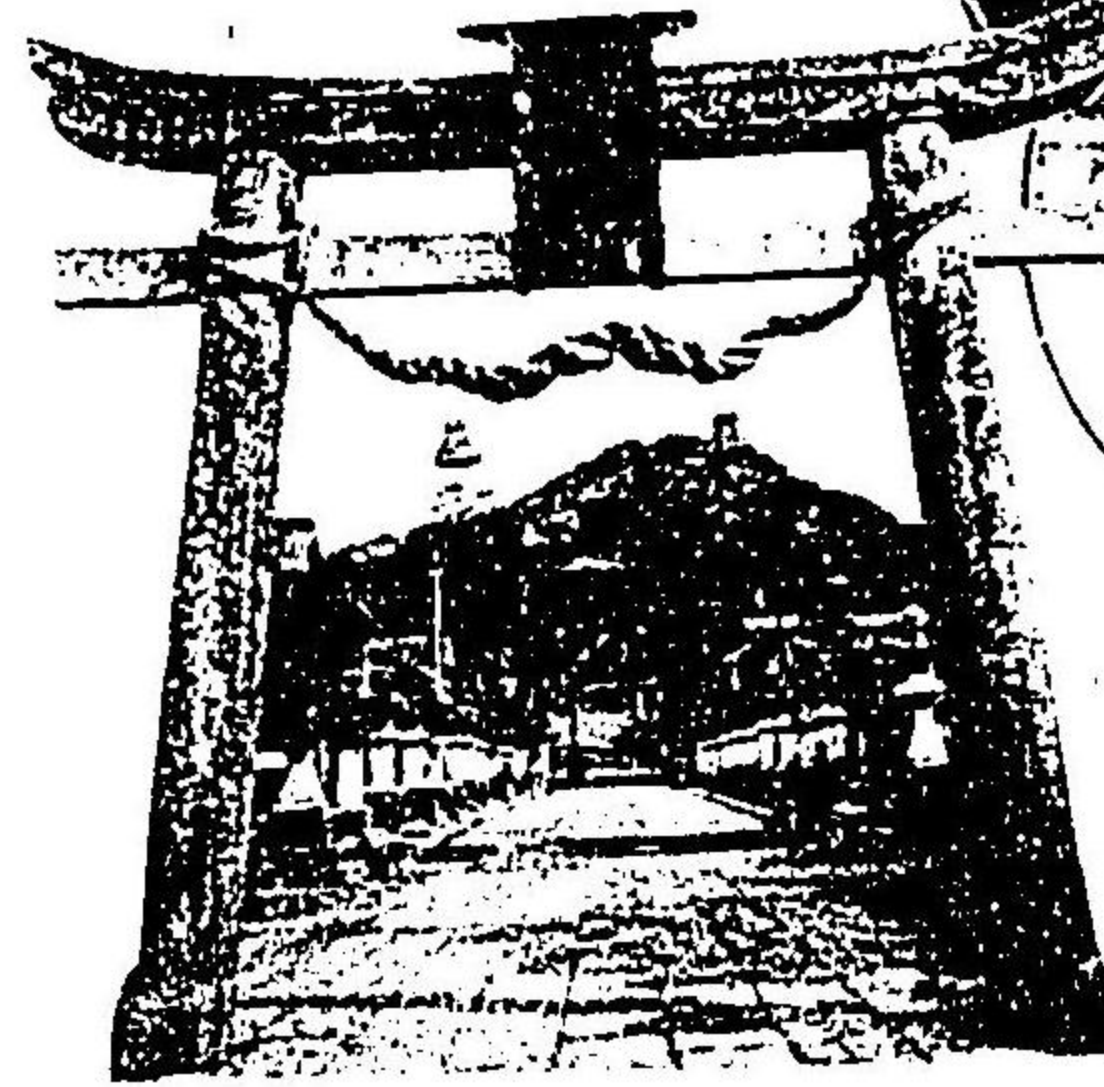
三田尻港



神 苑



樓 門



松崎神社

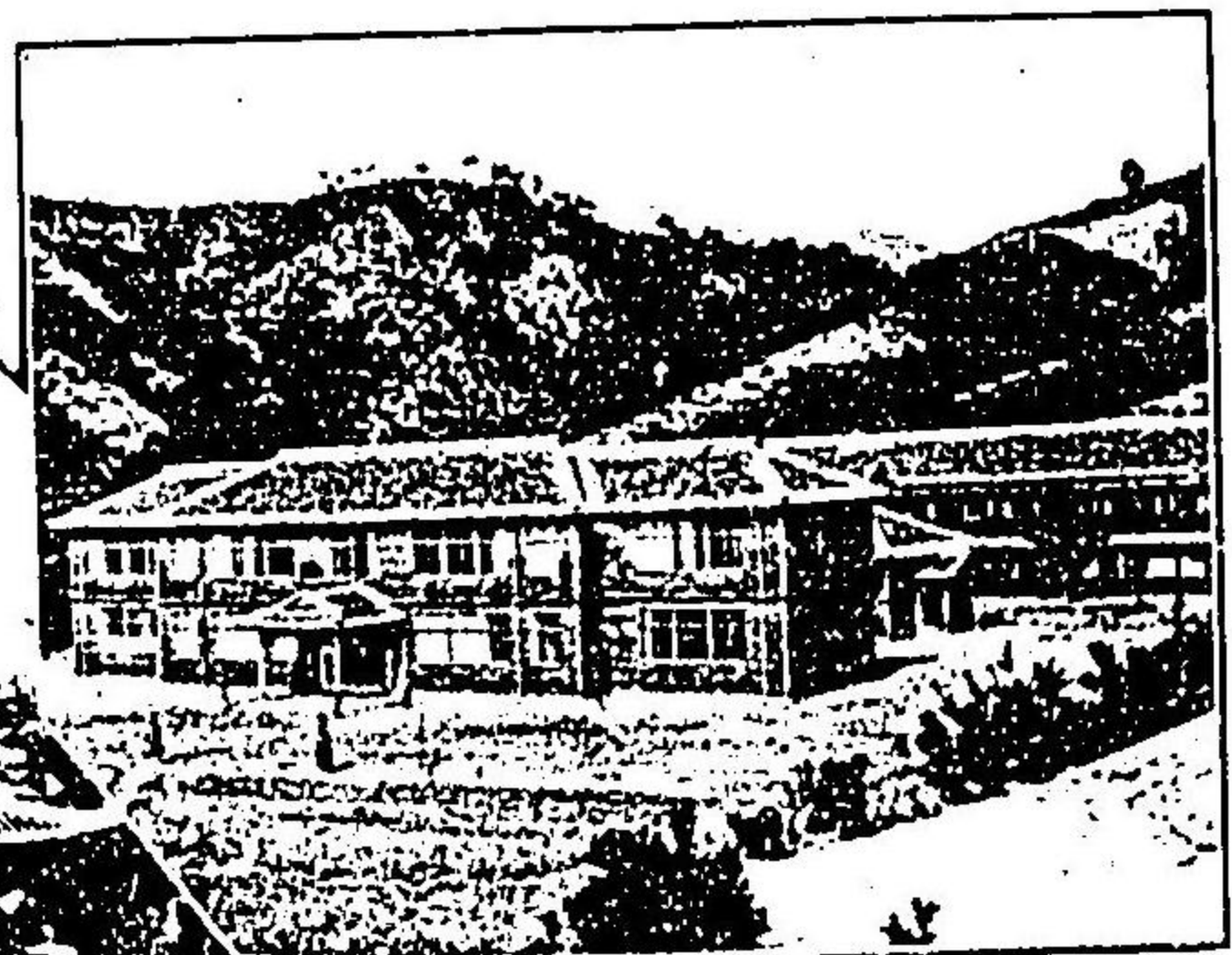


木 鐘 庵



春 風 樓

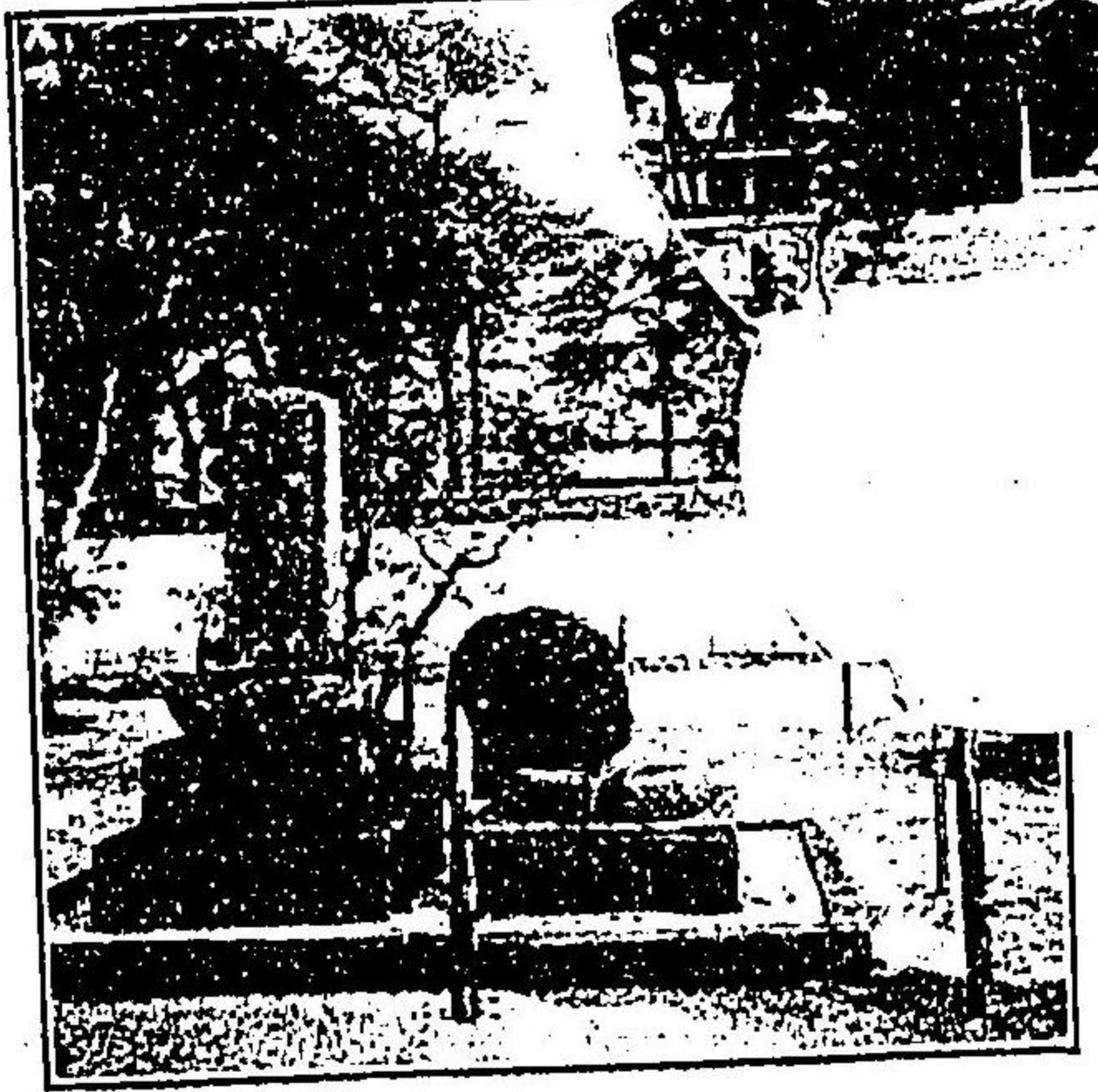
海軍
紀念碑



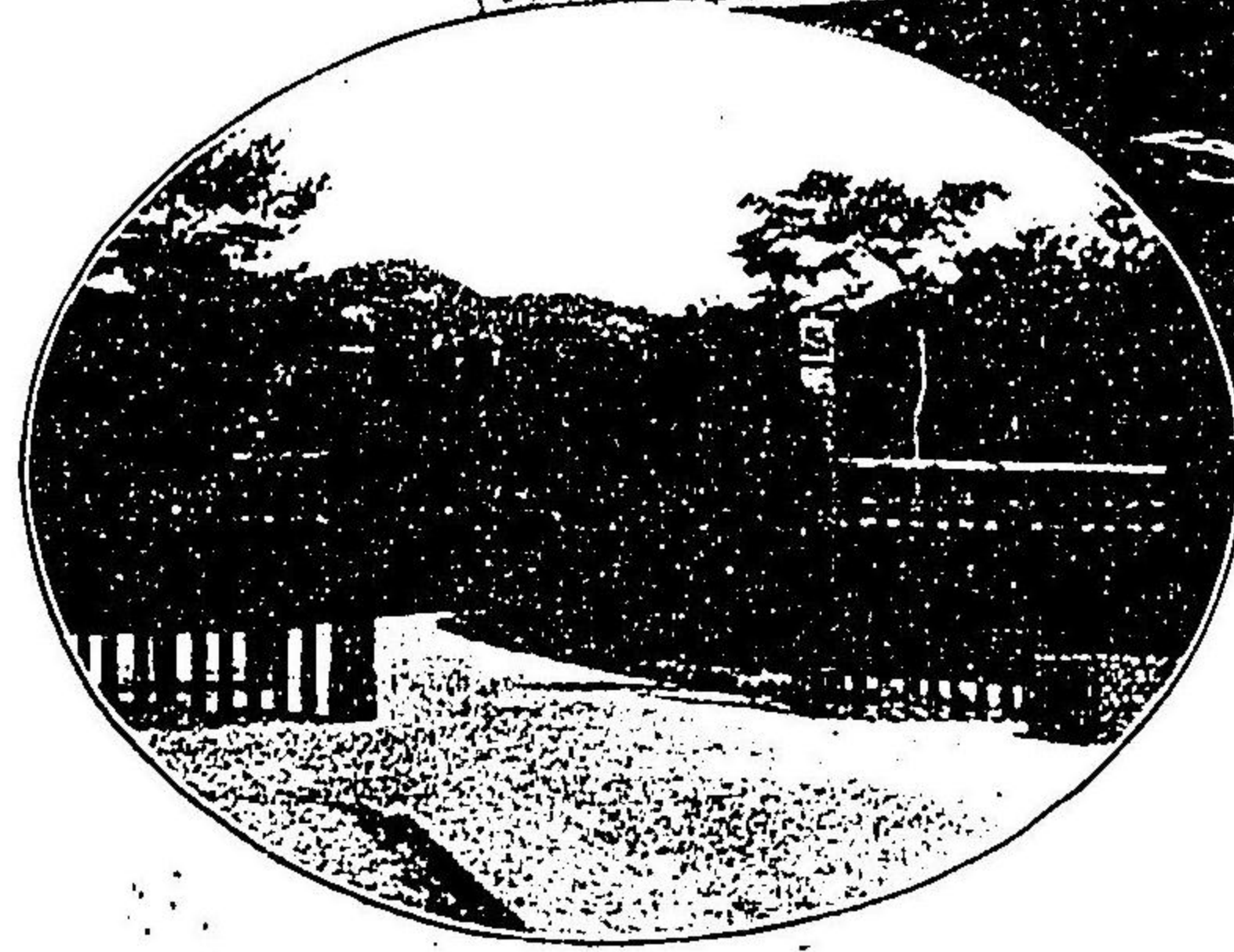
曹洞宗中學校



國分寺



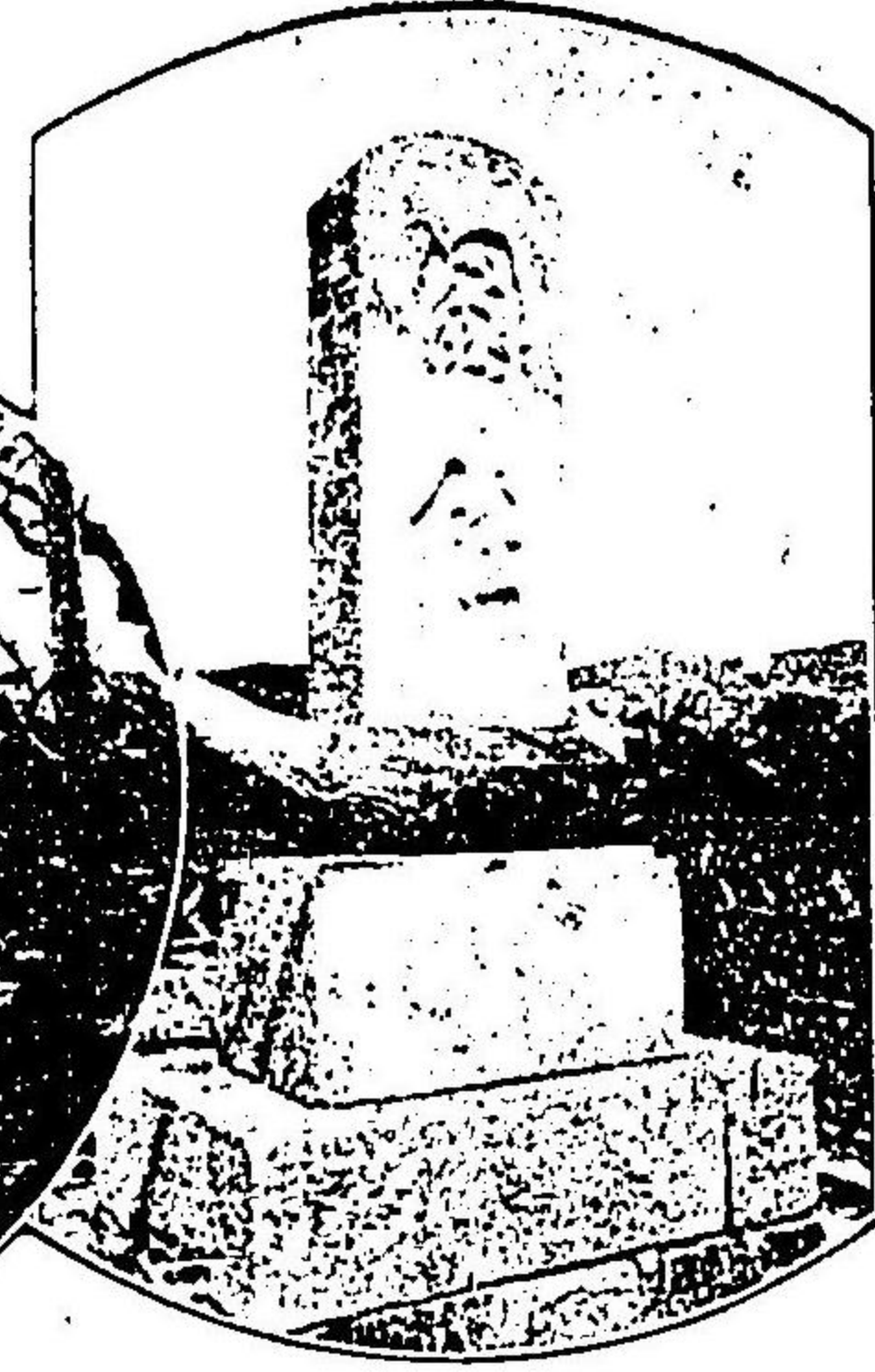
水鑑の井



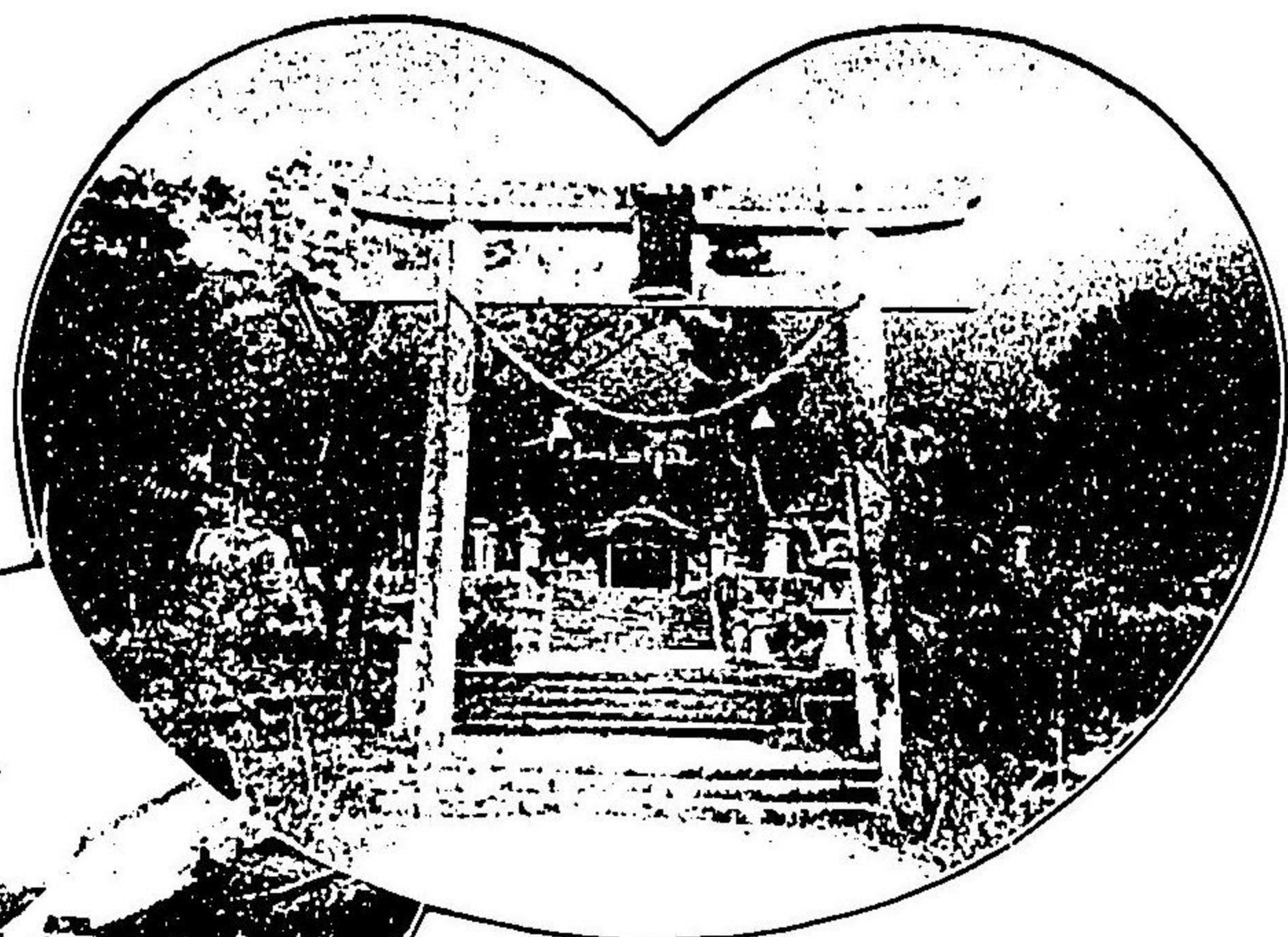
邸良々多利毛



邸良々多利毛



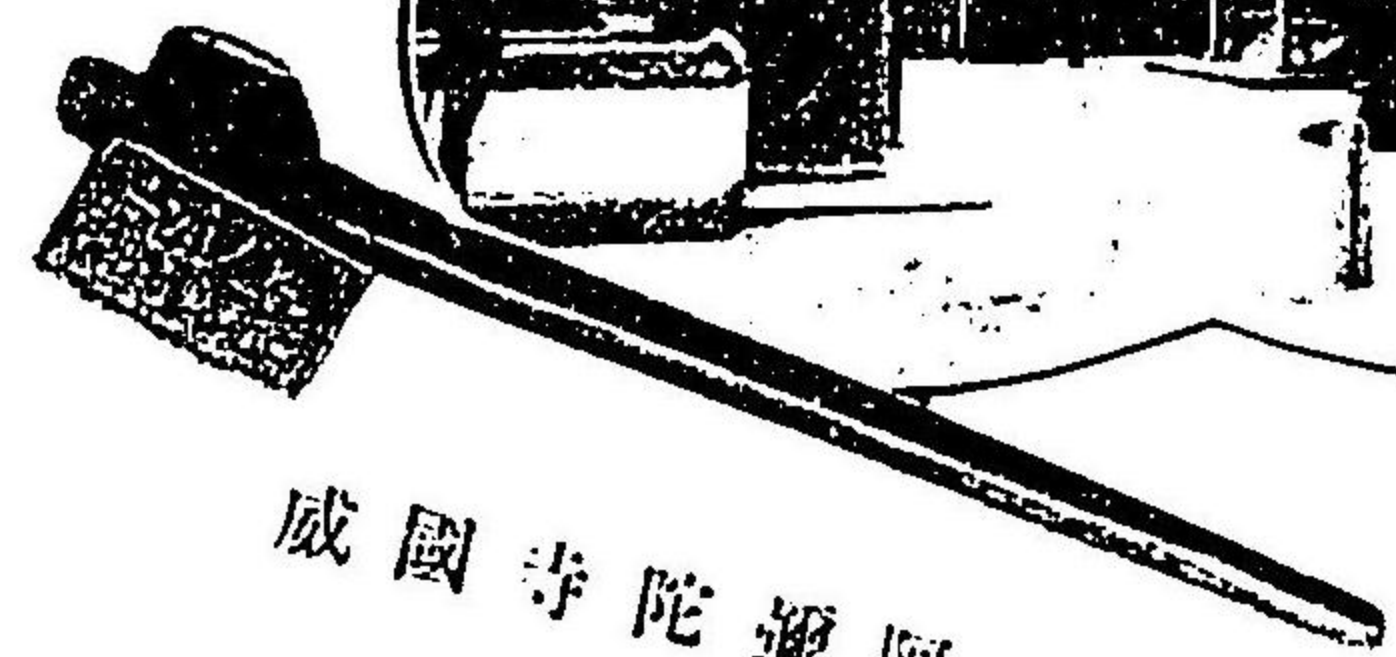
碑石廳國



社 神 日 春



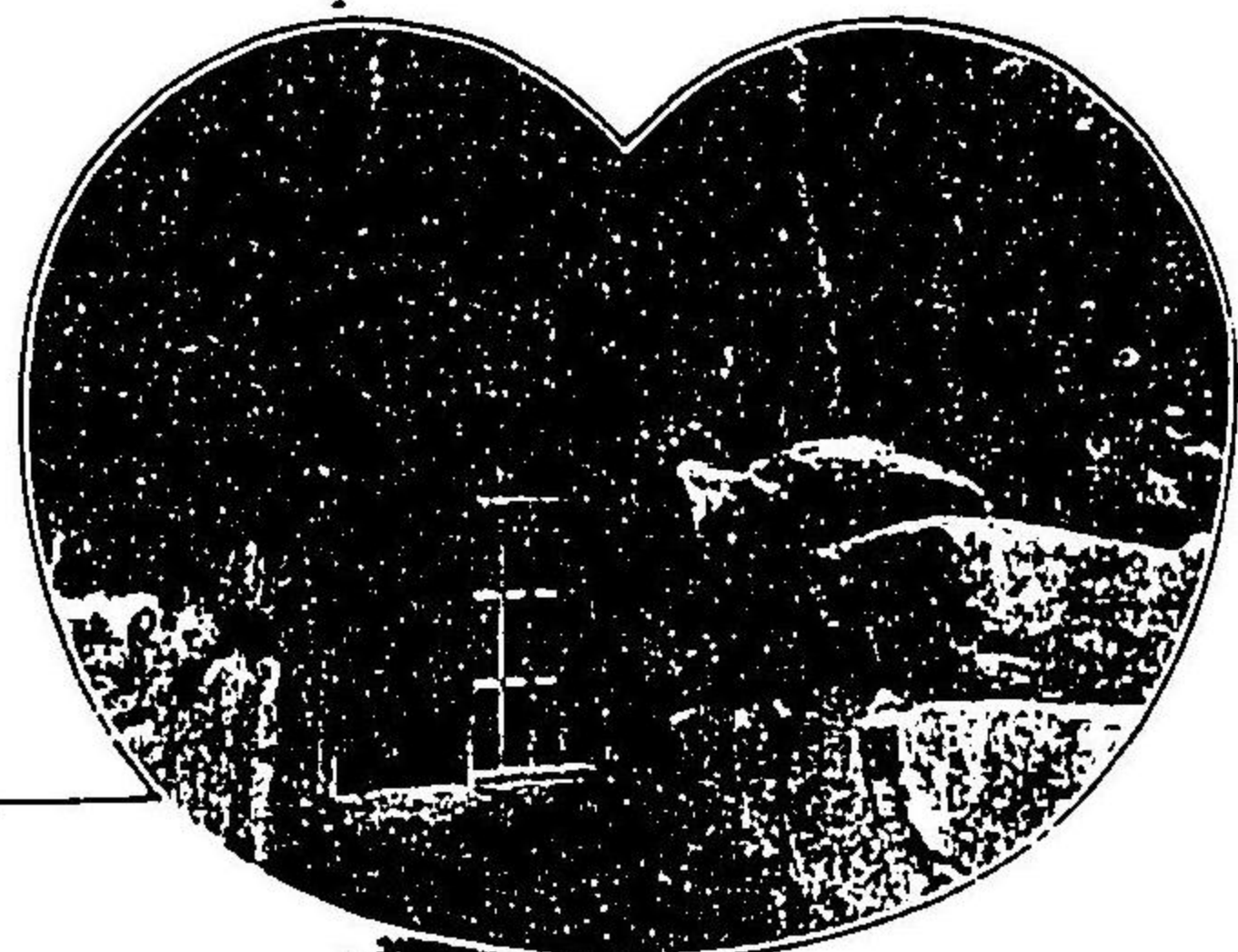
寺 陀 彌 阿



威 國 寺 陀 彌 阿



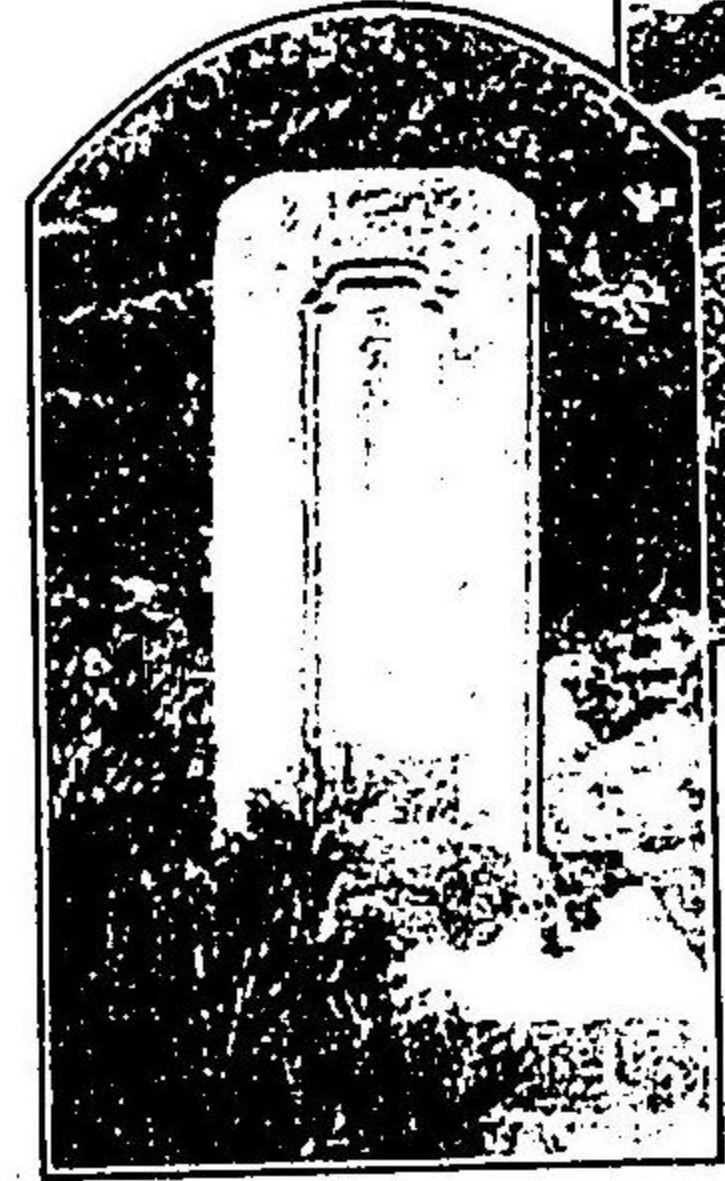
(宮の一)
社神祖玉



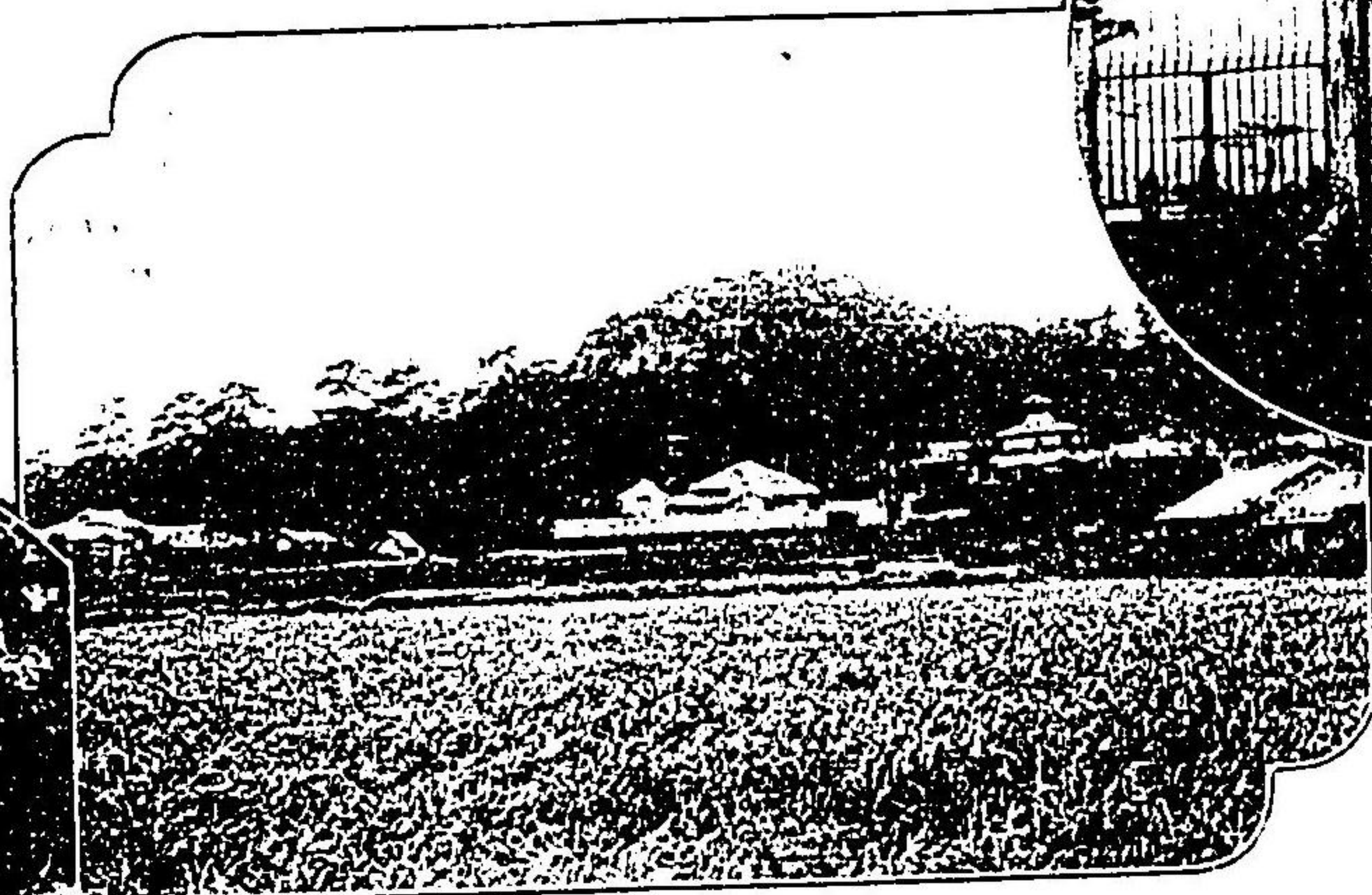
墳古非高



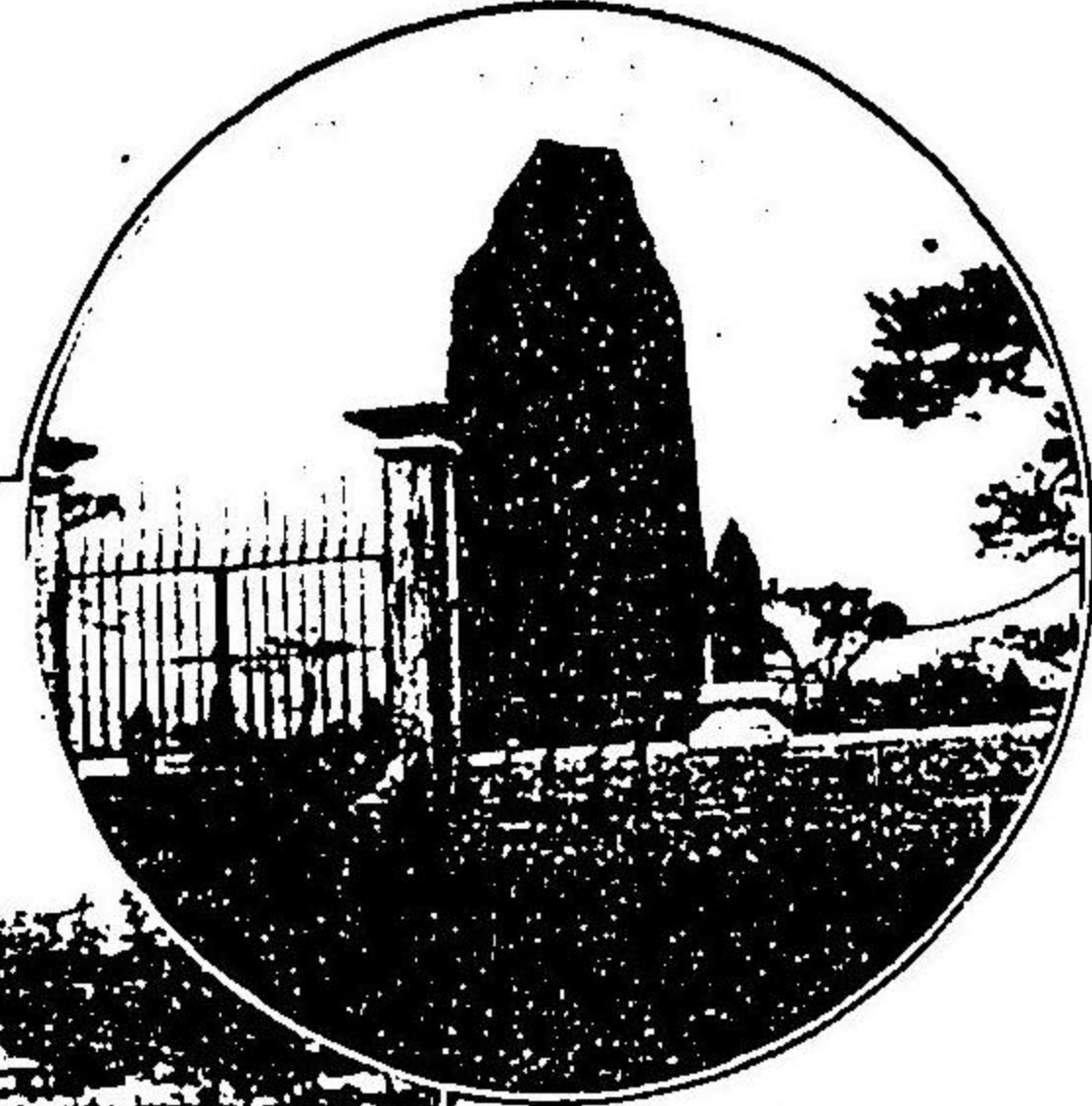
橋 船



墓の尼東望



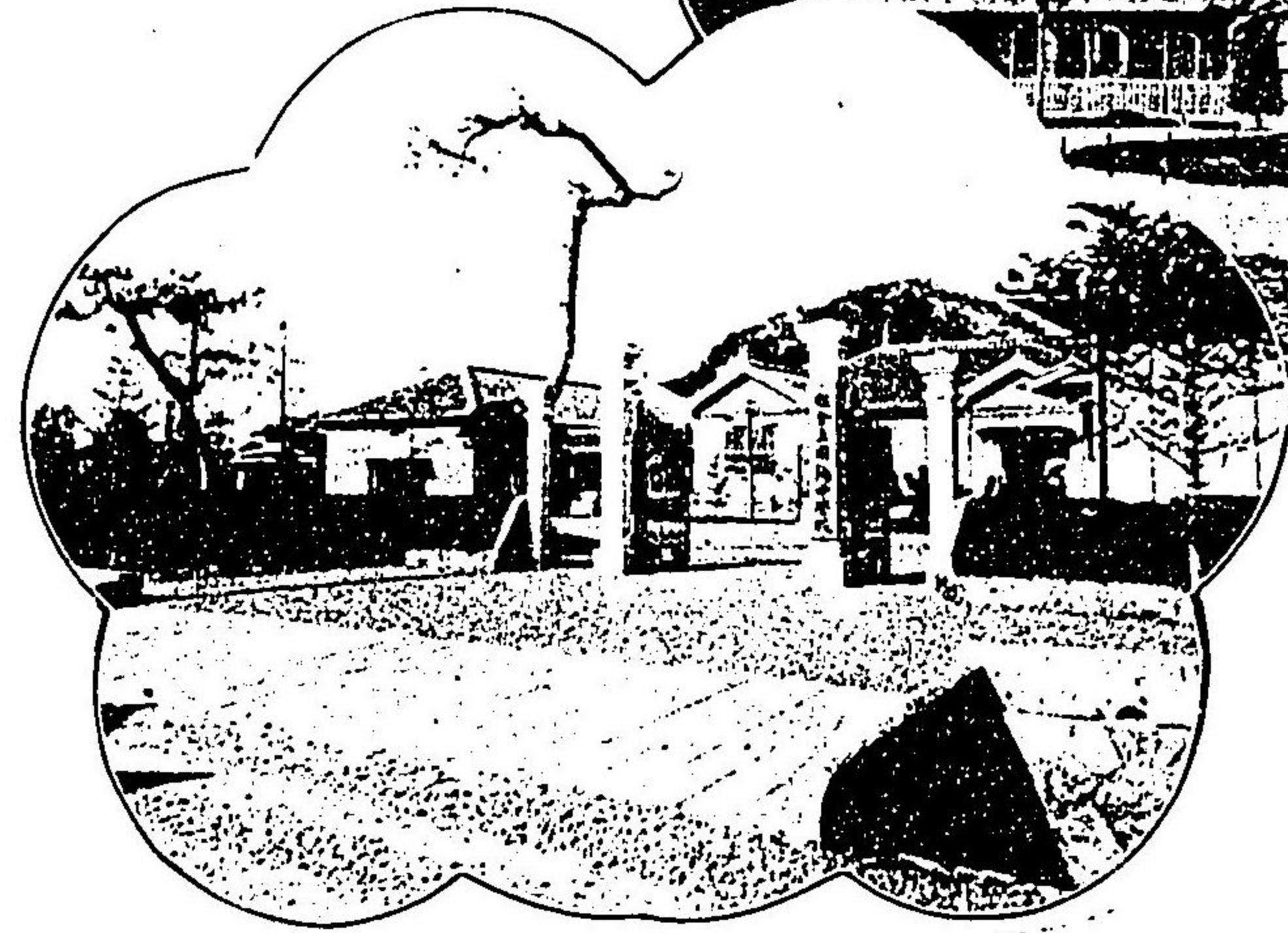
山 桑



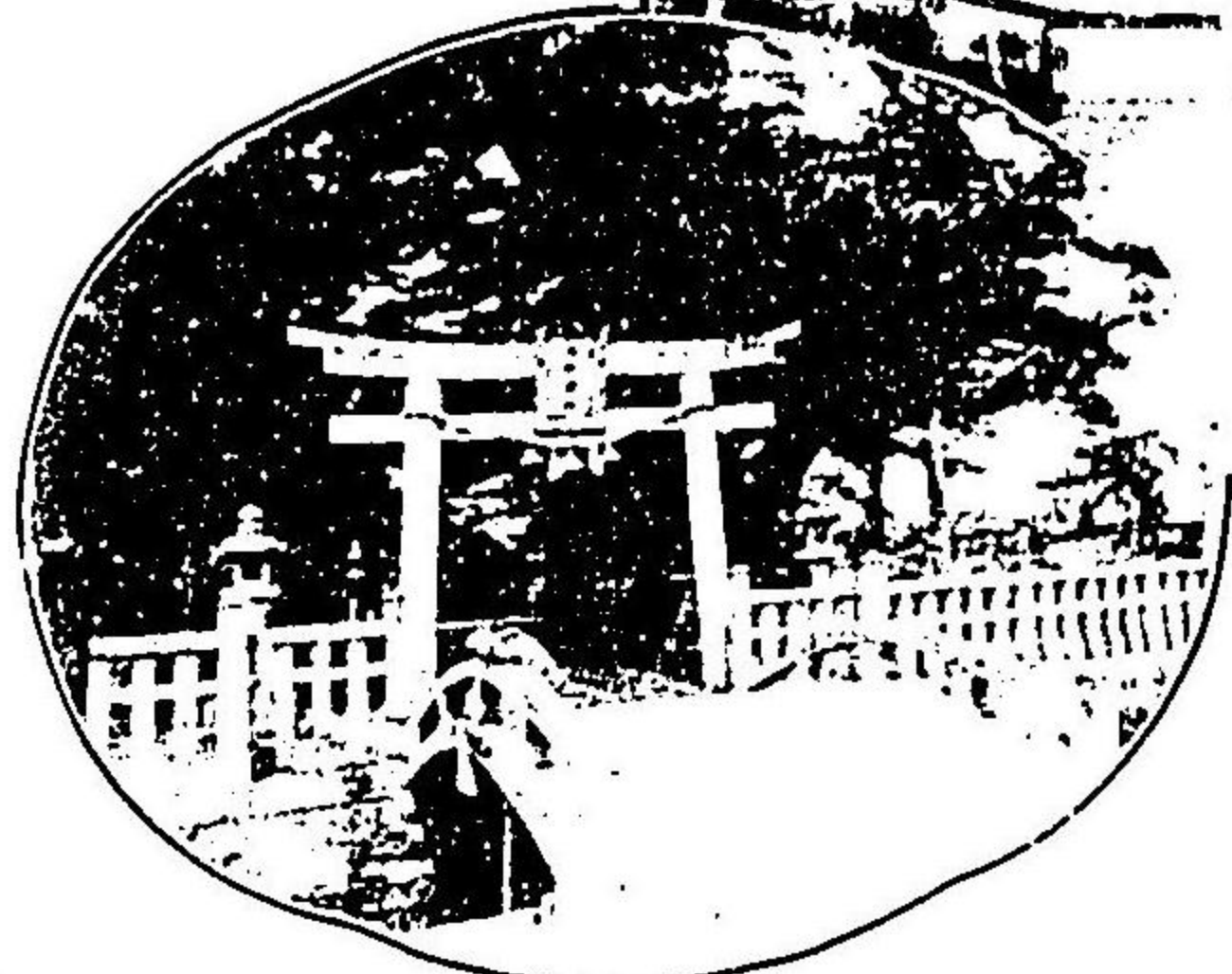
碑魂招



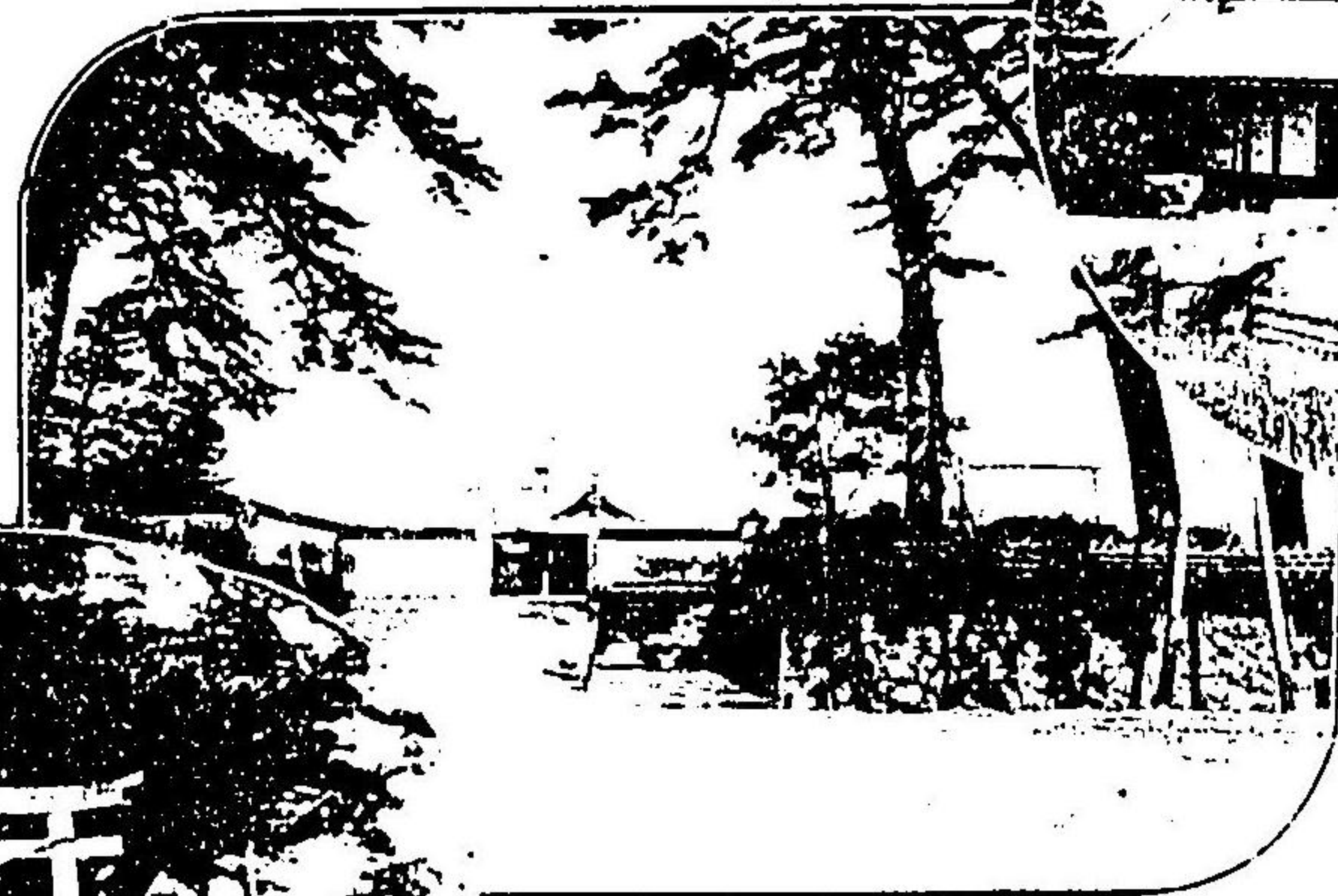
周陽中學校講堂



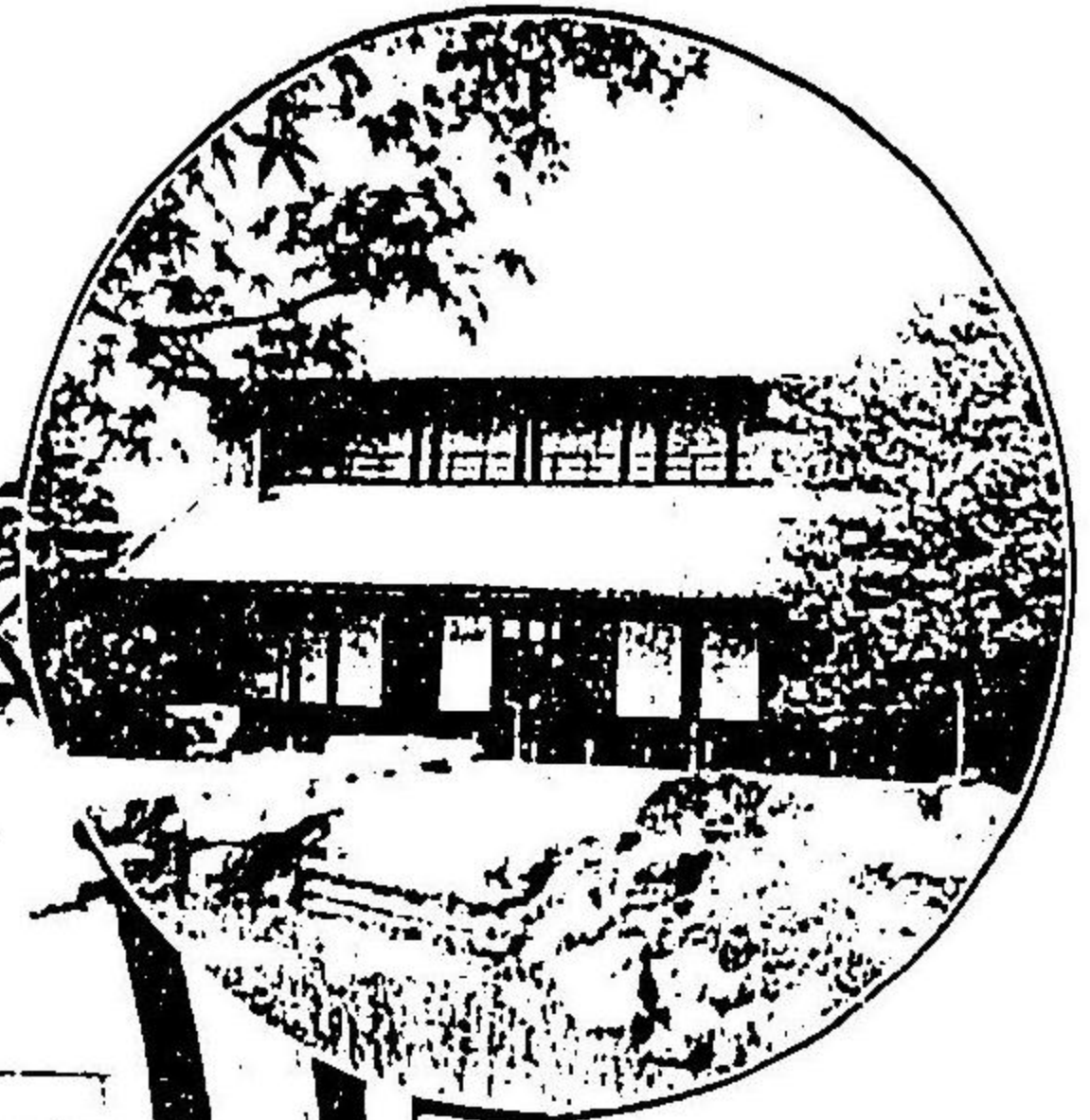
周陽中學校前



社 神 松 老



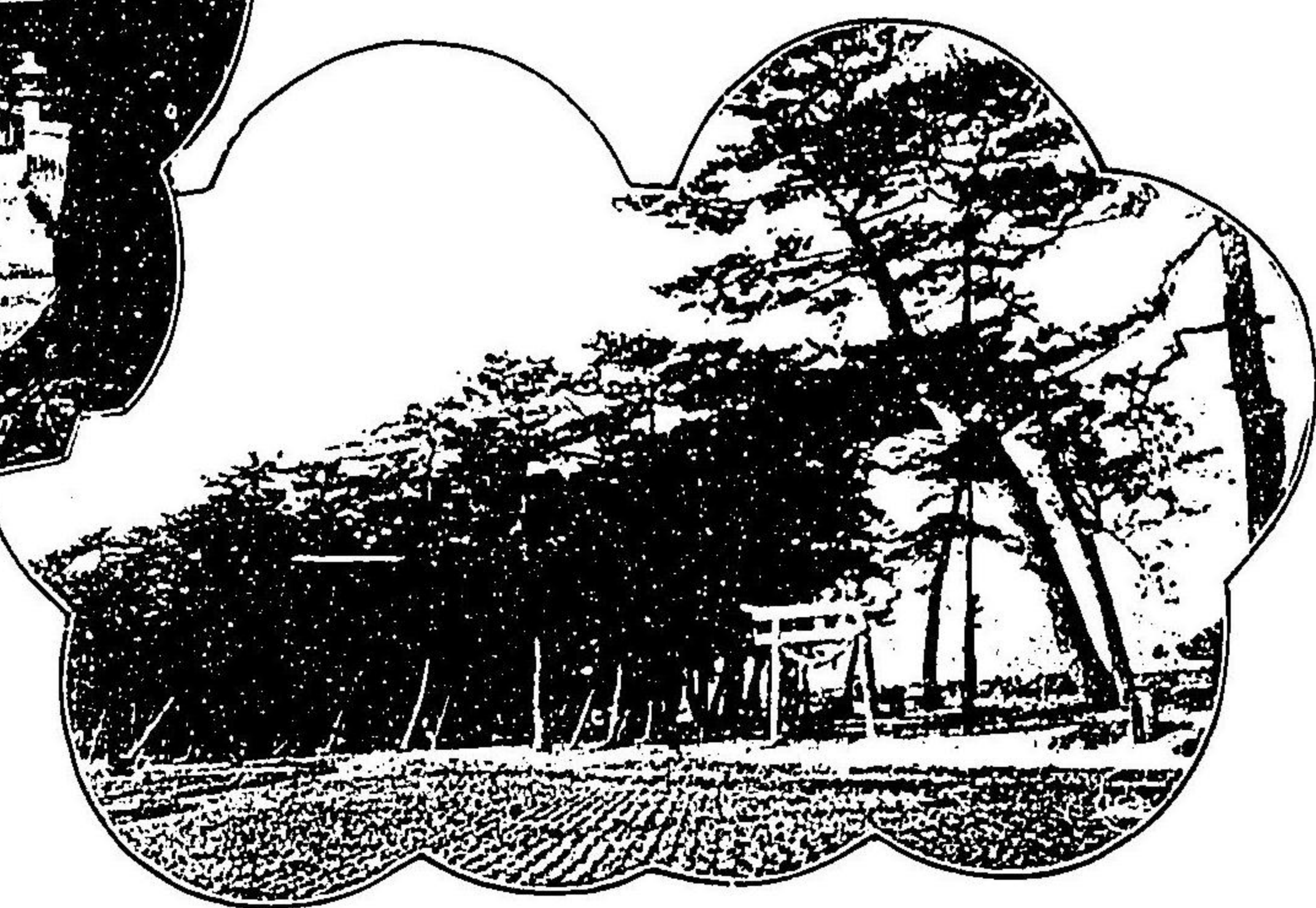
邸 尻 田 三 公 利 毛



閣 賢 招



社神島嚴



原松生物



局支尻田三局賣專



場驗試尻田三局賣專

防府の栞

●三田尻驛 鐵道院西部管理局所屬、山陽線中の主要驛にして、是より神戸迄の距離貳百七拾四哩五拾六鎖、下關迄の距離五拾四哩四拾八鎖、山口縣周防國佐波郡に於ける三田尻宮市、東西佐波領、新田、野島(以上防府町)中關、西浦、岸城、右田、牟禮、小野の南部諸町村、出雲、八坂、和田、嶋地、抽野、串の北部諸村落を控へ、山口、萩、石州の諸方面に出づる中心點なり、就中、防府町戸數現在四千五百六拾五戸(明治四十四年十月十五日調査)有名なる天満宮あり、毛利公本邸あり、鹽田開け、沃野連る、山紫水明、隠然として未來中國の大都會たるべき形勝を具ふ

- 防府郵便局、驛を距る南二丁、車塚に在り、特設局として電信、電話、一般郵便事務を取扱ふ
- 三田尻警察署、郵便局の眞向に在り
- 三田尻稅務署、警察署の南隣
- 防府町役場、稅務所の南向
- 三田尻小林區署、町役場を距る西一丁、三田尻村字岡村裏に在り
- 山口縣土木課防府出張所、小林區署の南、岡村表通に在り
- 三田尻製材所、合資會社、土木出張所隣
- 防府電燈會社、株式組織、驛通裏
- スタンダード石油會社タンク、驛の北隣
- 内國通運會社代理店、驛の眞向、梶山運送店內
- 周防組運送店、驛入口、字野崎
- 佐波郡立高等女學校、同上
- 長周日々新聞社、驛通、岡村新道へ入る角

- 錦秋吟社、華浦新興の漢詩壇
- 防長信託社、驛通印刷業を兼ね
- 宮市銀行出張店、驛通
- 防府傳染病院、驛を距る東五丁、宇重藤に在り
- 弘中病院、岡村、院長醫學士、内科
- 井原旅館、○其他の旅人宿、石田、岡本、旭、山寅、ホテル等、驛前乃至驛通
- 天御中主神社、東塚に在り、俗に妙見社と稱す、小丘の上、老松蔚然たり、洲崎神社(大物主命)を合祀す、稻荷祠あり、参詣者多し
- 天理教會、野崎裏に在り
- 蘆樵寺墓地、驛の南に在り、贈正五位岡本三右衛門翁神社地
前栽處せきまでに花の木いと多く植はみて、
朝夕にみれば心もおのつからにはふ軒端の花さくら哉 岡本豊嗣
- 萬福寺址石窟、東佐波令字狩物師に在り、口碑に古代穴居の跡と傳ふ
- 三田尻港 驛を距る南十八丁、周防洋頭の一大海門、中國航路の要津として、商船の寄港日々斷ゆることなし、松籟濤聲、詩的趣味に富める百間堤は、毛利重就卿時代に築成せられ、海氣新鮮、活世界に應用せらるべき大埠頭(長さ三百五十餘間)は築堤會社の力に頼りて、明治二十六年成功せらる
- 水上警察署派出所、堀口に在り、三田尻警察署派出所内
- 三田尻築堤會社、株式組織、三田尻港埠頭に在り
- 海陸運送會社、合資組織、庚午新町に在り
- 魚市場、合資會社、開地(福聚町)に在り
- 三田尻郵便局、片河町角、三等局
- 三田尻醤油會社、合資、片河町
- 三田尻酒造會社、株式、本町
- 三田尻米取引所、株式、北福聚町字局之内に在り、叶印其他の仲買店、軒を列ぬ
- 華浦銀行、片河町に在り、三田尻に於ける銀行中の老舗
- 益田貯蓄銀行三田尻支店、堀口に在り、本店は中關、此種銀行中尤も有力

なるもの

- 小郡銀行支店、中塚に在り
- 二十日會、三田尻人士の月次懇話會
- 防長實業新聞社、堀口に在り
- 周南日報社、立丁に在り
- 柏木驗温器、チアスターセ工場、片河町に在り、藥局として名を中外に馳す
- 三田尻海水浴場、三田尻阜頭に新設せらる、附屬旗亭觀潮樓
- 山徳旅館、阜頭に在り○其他の旅人宿、山内、伊藤は堀口、吉原屋は廣小路
- 福聚座、劇場、開地に在り
- 開地遊廓、華浦唯一の游仙窟
- 海軍局跡、今局之内と略稱す、舊藩時代毛利侯水鏡の在りし所
- 鐵道社、局之内、現董木鐘庵年守氏の俳諧所
- 警固町、局之内の北、袴土家村上氏の住せし所、國衛に通ず
- 黒川醫院、警固町に在り、院長醫學士、産科婦人科
- 間屋口、三田尻の古渡、明治十八年七月、天皇陛下此地に御上陸あらせらる、御巡幸紀念碑建てり、能く當時の光榮を語る
- 野島、華浦灣を距る五里、海上の漁人島なり
- 住吉神社、堀口に在り、祭神表筒男命、中筒男命、底筒男命、神體は老松神社境内に奉移せられしも、社殿僅存、若龍蟠として津門に吟す
- 専光寺、淨土宗、下町に在り
- 光妙寺、眞宗、光妙寺坂、光妙寺水資(三郎)氏の生誕地、氏の父を公壽と曰ひ、牛雲と號す、其羊は其俳號なり、矢野括山翁と時を同うして、詩書畫の巨匠たり、括山翁の故宅は、坂の側東へ入る上町烏衣巷に在り、上町の北立丁に儒者今津、天野等諸名家の跡あり、子孫今尚連綿、家道を墜さず
我庵はくらき處なき初日かな 其 羊
- 西法寺、眞宗、本町
- 日本基督教會、中塚に在り
- 松崎神社、驛を距る北八丁、酒滴山の陽に在り、宮市天満宮と稱す、延喜四年創建、本朝最初の菅廟にして、社殿嵯峨
賽者絡繹、實に萬古不易の聖蹟なり、社格縣社

菅公贊 賴襄 (真跡松崎神社藏)

天無^レ知乎、何使^ニ公超焉以起^一、天有^レ知乎、何使^ニ公蹶焉以死^一、時平菅根、指顧如意、二世相業甫成旋毀、雖^レ然誦者有^レ限、信者無^レ期、赫分威靈、若^ニ日行^一空者、九百有餘祀、而彼二兇安在哉、天果有^レ知也、

○松崎神社事務所、天神馬場上る石段の中程左側に在り

同圖書館、事務所の真向、創立中

●松崎神社樓門、廻廊を聯ねて、拜殿に接続す、遠く望みて丹霞瓊巖として常に酒山に住すと爲すもの即ち是なり

○菅公廟碑、山縣周南翁の撰文、樓門の傍樓の下に建てり

○神座碑、自蛇出現碑、皆川淇園翁の撰文、神廟の後に立てり

●神苑 全酒滴山を以て充つ、三廣室あり、十餘の休憩所あり、陵頭巖畔、遙岑を招くべく、遠水を翫ぶべし、梅下松陰飛泉を聴き、放鶴を觀る、天下第一清麗の勝境なり

榮ます梅松やこの二はしら 永 機

○酒滴岩、屏風岩等、擬芙蓉の後、松丘の阿に在り

○鳥兎瀧、鐘秀臺の北、二瀑相雙びて松下の殿に懸る

●春風第一樓 俗に通夜堂と稱す、社頭斷崖の上に聳ゆ、城市田園の光景を眺むるに、絶好の場處なり

春風や里はしら壁赤瓦 素 兄

○鐘樓、春風樓の傍に在り、古雅なる唐様の樓門なり

○故 宮廟、防府在住枿取男爵、御養育掛として奉仕ありし故 宮多喜子内親王殿下の御遺物を納めて、永久の念紀とせられし建物なり

●木鐘庵 鐘秀臺の下に在り、俳諧師素兄翁の棲遲せし草庵の一部を保存せるもの

きぬくの怨みも知らて年を経ぬ

つけと聲なきあかつ木の鐘 近藤 芳樹

●防長海軍記念碑 崇高臺の上に立てり市中より之を認め得

○宮市郵便局、松崎神社前、中市に在り、三等局

○松崎小學校、下島居に在り、新築の講堂方繞成る、酒滴山南又一偉觀を添へたり

○周南女紅學校、宮市新町裏

○宮市銀行、新町に在り、日本勸業銀行代理店、地方銀行中、營業の堅實を以て稱せらる

○鹽田貯蓄銀行宮市出張所、天神馬場角、中市、同三田尻支店と相雙びて、信川を博す

○ライオンクサン石油會社防府出張所、前小路に在り

○一丸石油會社、合資組織、下島居裏、スタンダート專屬

○協立醫院、吉田、武安兄弟二氏の經營する所

○商業會、宮市實業家の組織せる商業會議所の團體

○竹村商店、中市に在り、「防府名勝ふはがき帖」「防府の乘」發行所、外に營業品目、諸紙類、文房具類、樂器類、小月燒陶器繪架書等製造、卸小賣、木店

○渡邊寫眞館、天神馬場に在り、特に器械の精巧を以て聞ゆ

○白石寫眞館、渡邊寫眞館を隔て、相並立す、新進の技師、周旋甚だ力む

○松川屋旅館、前小路天神馬場東角○其他の旅人宿、深野、中木は前小路末宮は天神馬場

○曉天樓、前小路、舊宮市第一旅館藤村屋の深院二層樓なり、明治維新前後防長二州の志士多く此に集る、樓上落書淋漓、當時豪爽の意氣想ひ見るべし

春かすみ島山かけて手まくらの曉あかぬ空ののどけさ 玉 峰
作詩不欲尋常詩人、放險瀟腹吐經綸、飲酒不欲尋常酒客、一醉與中

蹴兵戲、龍 書

○天神座、劇場、前小路に在り

○鐘臺寺、眞言宗、酒滴山の西、櫻花の名所なり

○萬行寺、眞宗、前小路裏

○蘆樵寺、臨濟宗、前小路

○定念寺、淨土宗、中市

○安養寺、真宗、新町

○成海寺、曹洞宗、新町に在り、舊寶成庵と稱す、曾て伊藤春畝公來り遊び山主の根柢を賞し、滴水成海の四字を書し與へられき、縁りて公薨後、官允を得、今の名に改む、嵯峨周南の一名刹たり

●國分寺 真言宗、宮市天満宮を距る約四丁、三方山を負ひ南一面廣潤の田園を展べて、三田尻灣を望む、形勢の雄なる周南無雙、眞箇巨刹の好地位なり、開山行基菩薩、聖武天皇十三年國毎に寺を建つ、之を國分寺と云ふ、本山實に其隨一として、今尙甚だしく舊容を損せず、仁王門あり、金堂あり、聖天堂あり、客殿、庫裏、丈室等儼然一大本山の觀あり佛徒たる者、必ず登山して蒸沐禮拜すべし

●水鑑井 國分寺金堂の傍、梅櫻の裏に在り、菅公寫影の古蹟として、一場の奇譚を傳へらる、眉雪の山僧に就きて、故事を問へかし

○法華寺、真言宗、淨瑠璃山(國分寺山)中に在り

●曹洞宗第四中學林 淨瑠璃山中、鹿裳を避けて、専ら學徳研修の境を拓く、亦文部省認可、中等程度の普通學校なり

○佐波神社、國分寺を距ら東一丁、總社に在り、金切神社と號す、仲哀天皇熊襲を征したまふ時、西方即ち金位に當る賊首を切れば事成るといふ神教に依らせられ、神功皇后、熊襲を掃き、先づ新羅を膺らたまひ、果して大功を奏せられしかば、此所に天照大神を首め十三種の神を祭りたまひき、總社の名是より起ると傳ふ

●毛利公傳多々良邸 佐波神社を距る東一丁、世に百濟琳聖太子上陸の地と傳ふる所なり、今毛利公新邸を營まる、多々の至りとまをすべきなり

●國應碑 東佐波合字國衙に在り、天武天皇の御代、此地に國府を置き、奈良の都の制に倣ひて、市街を畫らる、爾來藤原、鎌倉時代を経て、星霜幾百を閱する間、國司の政廳として、威令行はれき、後人此所に碑を建て、古を懷ふ者の爲めにす

○演殿、宮市天満宮の御旅所あり、菅公左降の途次、此邊に寄泊嘆嘆せられし由、都瀆の名、今に残りて懐かし、勝沼浦は、開作せられて新田となりたり、玉勝間の稱呼は依然變はることなし

昔日叟姿倚御筵、狂歌吹起落江邊、群花婉媚榮枯念、一樹流芳千載傳、

○濱宮跡、勝間に在り、即ち勝間宮なり、式内社、元輔朝臣の子日せられし故事等ありて、著名の古社なりしを、神社合併の新令に破壊せられ、あはれ廢跡となり了んぬ

●阿彌陀寺 眞言宗、牟禮太平山下に在り、洞門雲迷ひ、溪橋水咽ふ處、一鳥且つ啼かず、偶々老松脩竹の間を穿ちて流るゝ寂光の長へなるを見る、境内所々に殿堂あり、結構亦莊嚴、問はずして清規の備れるを識るべし、開山は俊乘坊重源上人にして、後白河天皇の冥福を修する爲め創建せられし名刹なり

●國寶國威 奈良大佛殿に用ゐられし材木の鐵印國威なり、

阿彌陀寺々寶の一は鐵製多寶塔とよもに、國寶乙種と定めらる、外に國寶重源上人座像あり、其他繪旨、古文書等を藏す

●春日神社 阿彌陀寺の西、坂本に在り、春日四柱の神、茲に大元神を祭る、神田豊登、基礎確實、地方屈指の神社なり

社格村社

○浮野、坂本の南

○桶坂、牟禮、富海の界に在り

あはれなり昔の袖もかなるや花たちはなの坂や越にまし 大寧大戒

○岸津、浮野の南西、鹽田あり

○江泊、草嶺山の西麓に在り、向島と相對し、蕪浦の烟波を管す

○秋山愛禽園、根部に在り、家畜、野禽、あらゆる生産的、觀賞的小鳥の類を養ふ

○伊藤養護傳習所、浮野に在り、年々傳習生を募集し、斯業に盡す所あり

●船橋 宮市天満宮を距る北八丁、西佐波令字船本に在り、新橋と相並びて、佐波川に架せらる、石州街道の一捷徑なり

○山口縣原鐵種製造所、宮市、市尻口に在り

○護國寺、曹洞宗、西佐波令字中河原

○佐波川、又錦川と曰ふ、周南の一大川なり、源を石、長、周三國の界に發し、流程十五里許、宮市徳町の西を過ぎて海に朝す

○新橋、船橋の下方、佐波川に架せられ、山口街道の要路なり、橋畔の旗亭看堂に名あり、最も夏時贈(鮎、鯉)を斬りて江風に嘯く、快言ふ可からず

●高井古墳 新橋を距る北十丁、右田村字高井に在り、傳に琳聖太子墓と曰ふ、又一説に琳聖の孫阿戸太子墓と曰ふ、石窟中に大なる石棺を安置す、太だ奇古なり

○劍神社、高井に在り、式内の古社

○右田岳、右田雅に海北と稱す、男爵毛利氏の舊封土、二百年前、山縣周南先生を出六して、山岳清輝を加ふ

●玉祖神社 新橋を距る西二十五丁、右田村大崎に在り、祭神玉祖命、三種の神器の一なる八尺瓊勾玉を製りたまひし神なり、古より周防一の宮とし崇め奉る、今乃國幣小社に列せらる

諸玉祖祠 吉田 恕庵

落々長杉欲貫天、閑宮普佛起寒烟、思昔神后四討跡、青山不語幾千年

○江良農園、右田村字江良、桃、梨、葡萄等の其種を栽に、果實の産出少なからず、市場に聲譽を博し來る

●桑山 驛を距る西南六丁、雅に九華山(國音クワより出づ)四十八峰(桑字より出づ)と稱す、實は「道行ぶり」(今川了俊著)に見ゆる如く、ただ「一重なる松山」なり、昔は四面環海一座の嶋山なりし由、山上に久目皇子墓と傳ふるものあり、絶頂の眺望太だ佳、山路險ならず、老幼扶を藉らずして、登臨し得べし、山中に招魂場あり、春秋典に遵ひ、勤王志士の英靈を祀る

●桑山招魂碑 明治維新の際、國事に殉せし整武隊員等の忠義を彰す

●野村望東尼墓 筑前福岡の女丈夫、勸王家として、愛國壯士の間に周旋し、遂に三田尻の假寓に客死せし望東老尼の遺骨を瘞めし處なり、墓前の香花常に斷せず、芳魂今何の邊にか在る、贈正五位の恩祭を辱うして、道山に感泣しつゝあ

るなるべし

○大樂寺、曹洞宗、桑山の南に在り、時鐘堂の傍、僧樓を起して、四時遊賞の雅客を延く

○美以教會、下岡村に在り

●周陽中學校、桑山の南麓に在り、此昔周南第一の育英堂、周陽學舎の後身なり、現に文部省認可の特典を得、組合立として、優に縣立以上の成績を収めつゝあり、構内幾多建築物の中、大講堂一宇、殊に輪奐の美を極む

○佐波郡役所、周陽中學校の南、櫻馬場の北に在り

○佐波郡農會事務所、佐波郡山林組合事務所、郡役所前

○百十銀行防府出張店、郡役所前、縣木金庫佐波支金庫、三田尻支金庫、日本銀行西部支店派出所

○三田尻病院、郡役所の筋向、櫻馬場の傍、院長神徳氏(内科)野崎醫學士(眼科)村上醫學士(外科)

○櫻馬場御門、三田尻病院正門の南端に在り、維新前七卿其他諸豪傑の出入したりし史的遺物なり

○萱花會、三田尻病院内に會場常設、防府在住の學匠を網羅し、毎月第一土曜日に講座を開く

●毛利公三田尻邸、櫻馬場を東へ下る廣小路、古松林を成す所、御茶屋と云ふ、雅稱華浦城、今、毛利公の常住所と爲る

○花月樓、舊國分寺境内に在りき、今御茶屋の内に存す、茶室なり、又御茶屋附近光妙寺坂下、西へ入る部落の名を花月樓と云ふ

○越氏墓址、二三年前まで、御茶屋の東隣に在りき、今は全く廢たれて、菜園と爲る、三田尻最初の學校にして、享保の昔越智(河野氏)養竹翁の創立せし學舎の轉變したる最後の痕跡を留めしもの、紀念の石碑は、今移して華浦小學校の構内に保存せらる

●老松神社、御茶屋の西新丁に在り、祭神素盞鳴尊、大己貴

命、天穗日命一座、菅原道真公、吉祥女君、菅原淳茂朝臣一座を主とし、倉稻魂命を配祀す、境内老松蟠り、塵氛の侵すを許さず、正に華浦隨一の鎮守なり

○正福寺、曹洞宗、老松神社の隣

○明覺寺、眞宗、新丁の西端

○法圓寺、日蓮宗、新丁の南、高洲

○林川醫院、院長醫學博士、内科小兒科

●鞠生松原、高洲の西、桑山の南に在り、白砂青松相連り晴好雨奇、古來周南の勝區として、其名著し

○華浦小學校、松林中、疊として別に學の林を成す

○鞠生幼稚園、松林の頭に在り

○小島神社、松林中に在り、武津見命を祭る

●嚴島神社、松林の中央に在り、市杵島姫命、田心姫命、湍津姫命を祭る社格村社、傳へて云ふ神たち初め、此地に降りたまひ、後今の嚴島に遷座ありしと、前方に見ゆる向島は廣さ概ね嚴島に等し神たち永住の候補地として覺たまひけん古ゆかしく思ふ所なり

○新田、松林の南、西全面、海を壁めて沃野と爲しき、總て是毛利氏時代に開作せしもの

○中關、松林の南、三田尻港に次ぎ、殷富の古海園なり、塩田蓄貯銀行本店鹽田大倉所、園の露木店等あり

○田島、昔の海島、今は中關の四方鎮護の山と爲る

大崎の浦ふく風の朝なきに田島をわたる鶴のもる聲 今川了俊

●專賣局三田尻試驗場、中關、中濱に在り、明治四十二年八月創立、改良カナワ式製鹽法に據り、官營として模範工場を

設く、工事竣成、試験續行、本年十月開場式を挙げ、公衆の縦覧を許されたり

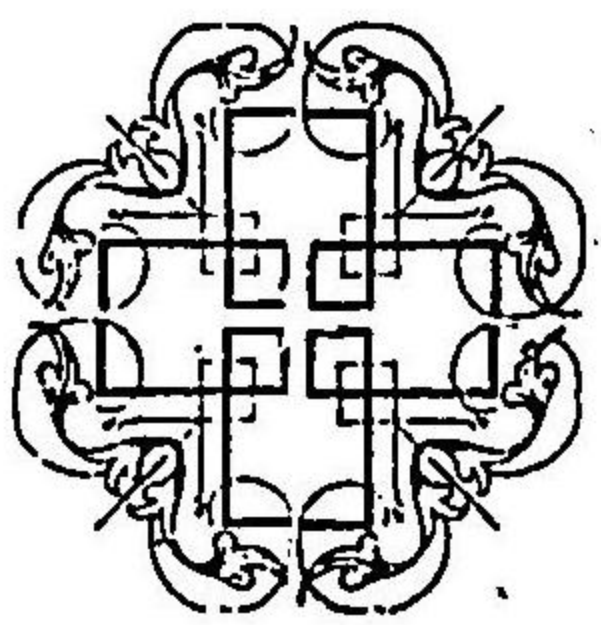
●三田尻専賣支局、試験場の東、鶴濱に在り、明治三十八年開始、應舎五百六十四坪、局員二百、倉庫（鶴濱、向島、西泊）二千七百八十五坪、此收容力二千萬斤、生産鹽（防長二州）四十三年度一億四千七百萬斤、此價格三百六十五萬圓
○鹽田、古濱、中濱、鶴濱、大濱、此反別二百六十五町歩（防長二州一千町歩）製塩戸數百四十戸

○田通庵梅林、田嶋山の麓に在り、時政梅旭氏の獨造に成る

○華南圖書館、中關、華南小學校構内に在り、故尾中海軍大尉の遺族より寄附せし恩賜金を基として、創設せられしもの地方有數の文庫なり

○田中藤六翁碑、鶴濱松林の裏に建てり、鹽田の恩人、藤六翁の功業を不朽にしたるもの、碑文は廣瀬旭翁の撰に係れり

○向嶋、鶴濱と一水、江の如き海を隔て、相對す、錦山の名、古より著聞せり、小蓬萊、臥龍嶋は、文人の雅稱なり



明治四十四年十一月五日印刷 今年十一月七日發行

復製 不許

著作兼 發行所 竹村豊太郎

印刷者 栗田富雄

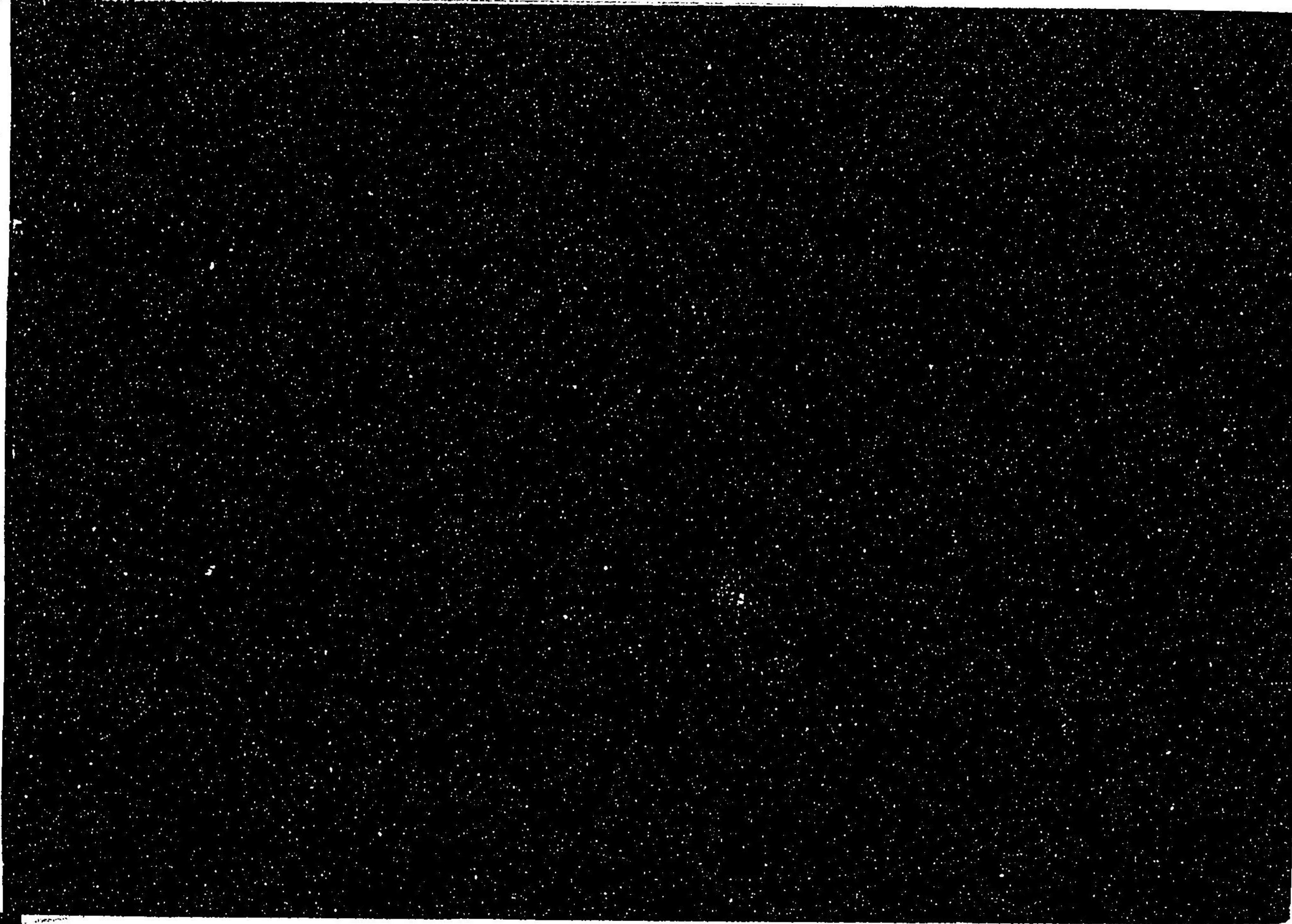
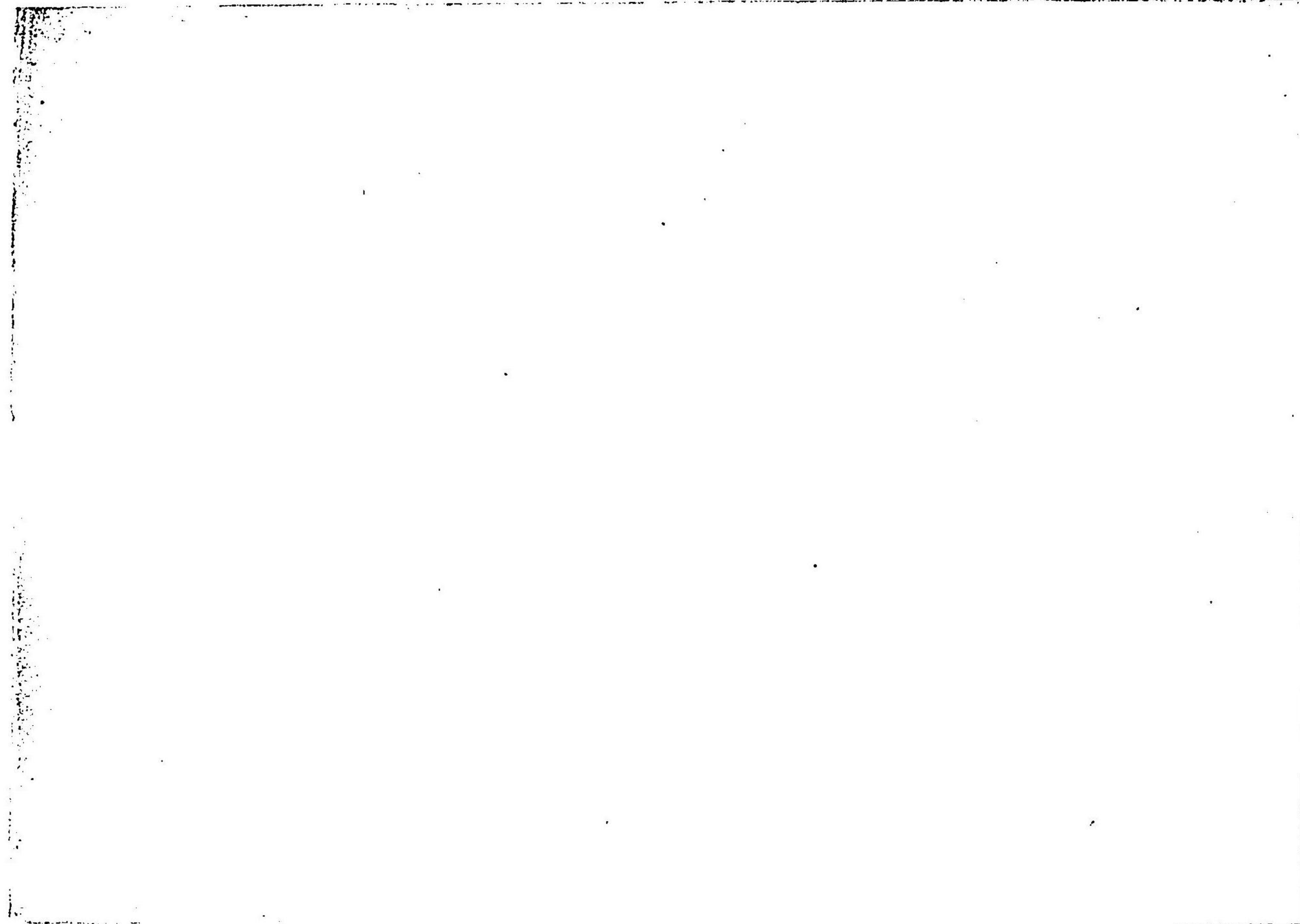
印刷所 栗田製版印刷所

大阪市東區大手通二丁目一六三番邸電東三二八九

發行所 竹村商店

山口縣佐波郡防府町 大字宮市三百六十九番地 電話 一一二三番

94
757



94
757

